

平成 28 年 11 月 14 日

愛 媛 大 学

平成 28 年度愛媛大学公開講座 in 四国中央市 「南海トラフに対する備えについて」を開催

愛媛大学では、このたび、平成 28 年度「愛媛大学公開講座 in 四国中央市」を下記のとおり開催します。

このイベントは、地（知）の拠点整備事業（COC 事業）として「地域の再生を担う実践的人材の育成」を目的に、学生から社会人まで、地域の方全てを対象に開催します。

今回は、「南海トラフに対する備えについて」をテーマに、愛媛大学防災情報研究センターの矢田部龍一センター長が、「東北、熊本の調査報告と南海トラフに対する備えについて」と題して講演するとともに、二神透副センター長が、「避難シミュレータによる避難計画の重要性、避難に対する意識付け」について講演を行います。

また、根々見自主防災会会長の渡辺雅道氏に「身の丈の自主防災活動を通して」についてお話いただきます。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：平成 28 年 12 月 3 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分（開場 12 時 30 分～）

場 所：四国中央市消防防災センター 3 階 大会議室

（四国中央市中曾根町 500 番地）

対 象：一般の方、学生

定 員：100 人（定員になり次第締め切らせていただきます。）

参加費：無料

参加申込：別添開催案内の申込み用紙に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にて記載の COC 事務局宛に、11 月 29 日（火）迄に送付願います

駐車場：四国中央市役所東駐車場、四国中央市役所南駐車場（消防防災センター東側）をご利用いただけます。（※台数に限り有り）

本件に関する問い合わせ先

担当部署：愛媛大学 COC 企画運営部事務局

担当者名：重松

TEL：089-927-8964

Mail：coc@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 2 枚（本紙を含む）

平成28年度 愛媛大学公開講座 in 四国中央市 ～ 南海トラフに対する備えについて ～

東北、熊本の震災調査報告をもとに南海トラフ巨大地震の備えについて考えるとともに、避難シミュレーションによる避難計画の策定の必要性和自主防災組織の活動を紹介し、その活動の重要性の認識とその活動が抱える課題と対策について考えてみます。

参加
無料

日時

2016.12.3 (土) 13:00 - 16:00

※ 受付スタート 12:30 ～

会場

四国中央市消防防災センター 3階 大会議室
(四国中央市中曽根町 500 番地)

内容

【講演 1】 東北、熊本の調査報告と南海トラフに対する備えについて
(愛媛大学防災情報研究センター センター長 矢田部 龍一)



東日本大震災は千年に一度の大規模地震で未曾有の津波災害をもたらし、熊本地震は震度7の直下型地震の破壊力の大きさを見せつけました。南海トラフ巨大地震は、これらの地震災害を合わせ持ったものです。

本講演では、巨大地震への備えについて共に考えてみたいと思います。21世紀の日本は自然災害の世紀と言えます。少子高齢化が急速に進む中で、地方の防災力は極端に低下してきます。また、1千兆円を超える国の借金、国や自治体の防災対応力の低下を招くことは間違いありません。そのため、自助としての個人の防災対応力の強化と共助としての地域防災力の強化について講演します。

【講演 2】 避難シミュレータによる避難計画の重要性、避難に対する意識付け
(愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 二神 透)



現在、地震火災、津波浸水、土砂災害、洪水から安全に避難するためのシミュレータの開発を行っています。今後、様々な災害を想定し、地域で犠牲者を出さない避難計画の作成が必要となります。これらのシミュレータが、地域で避難計画を策定するための一助になればと考えています。

【講演 3】 身の丈の自主防災活動を通して
(根々見自主防災会 会長 渡辺 雅道 氏)



平成16年台風23号の被害を受け、平成20年5月、自主防災会を組織しました。当初はことあるごとに、市の出前講座を利用し、また毎月、「自主防災便り」を発行して、防災意識の高揚と組織が機能するように図ってきました。活動計画や地域の皆さんの活動を報告・紹介し、見えてきた課題とその対策についても、考えたいと思います。

【主催】愛媛大学 【共催】四国中央市 【後援】四国中央市教育委員会
◆【定員100名(先着順)11月29日迄】参加申し込み方法、当日プログラムは裏面をご覧ください。

問合せ
&
申込み

愛媛大学COC企画運営部事務局(担当:重松)
〒790-8577 松山市文京町3番(愛媛大学社会連携推進機構内)
TEL 089-927-8964 FAX 089-927-8820 E-mail coc@stu.ehime-u.ac.jp

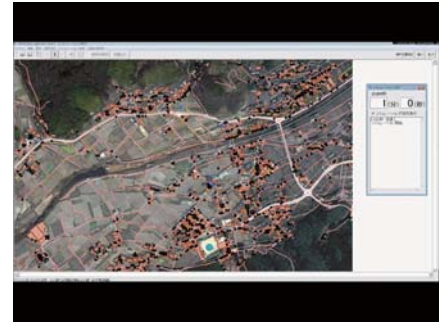
◆本イベントは、地（知）の拠点整備事業（COC事業）として「地域の再生を担う実践的人材の育成」を目的に、学生から社会人まで、地域の方全てを対象に開催します。



東日本大震災津波により被災した
南三陸町防災対策庁舎



熊本地震による益城町の被災状況



シミュレータ画像

100名
(先着順)
参加無料

平成 28 年度 愛媛大学公開講座 in 四国中央市

“南海トラフに対する備えについて”

2016.12.3（土）13:00～16:00（受付開始 12:30～）

【会場】四国中央市消防防災センター 3階 大会議室
(四国中央市中曾根町 500 番地)



プログラム詳細



- 13:00～13:05 主催者挨拶 愛媛大学 理事・副学長 仁科 弘重
- 13:05～13:10 共催者挨拶 四国中央市 市長 篠原 実 氏
- 13:10～14:10 講演 1 “東北、熊本の調査報告と南海トラフに対する備えについて”
愛媛大学防災情報研究センター センター長 矢田部 龍一
- 14:10～14:20 休憩
- 14:20～15:20 講演 2 “避難シミュレータによる避難計画の重要性、避難に対する意識付け”
愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 二神 透
- 15:20～15:50 講演 3 “身の丈の自主防災活動を通して”
根々見自主防災会会長 渡辺 雅道 氏
- 15:50～16:00 質疑応答

【主催】愛媛大学 【共催】四国中央市 【後援】四国中央市教育委員会

参加申込み先

【定員 100 名】愛媛大学 COC 企画運営部事務局（社会連携推進機構内）
【先着順】 Mail: coc@stu.ehime-u.ac.jp Fax: 089-927-8820

- 11月29日（火）までに、eメールまたはFAXで、上記COC企画運営部事務局までお申し込みください。
なお、承諾のご連絡はいたしません。定員に達した場合、お断りのご連絡を差し上げます。
- 障がいのある方等で支援の必要な方は、2週間前までにその旨をお書き添えください。

フリガナ
お名前

※ 複数人でお申し込みの際は、全員分のお名前をご記入ください。

ご所属、役職名

連絡先

Tel:

Mail: